



公益社団法人 日本スポーツ協会公認
茨城県スポーツ指導者協議会

会 報

第 78 号

平成 31 年 3 月 15 日

発行人

茨城県スポーツ指導者協議会

会 長 照 沼 一 美

事務局 〒 306-0204

古河市下大野 1463-4

事務局長 鈴 木 義 夫

TEL・FAX 0280-92-4555

会員数 1,359 名 (H31.3.15 現在)



全県研修会（平成 30 年 8 月 12 日（日） ケーズデンキスタジアム水戸）

公益社団法人 日本スポーツ協会公認
スポーツ指導者のために

資質向上と
活動の推進を

連帯感を深め
組織的活動を

目 次

会長あいさつ	2
事務局長の活動報告	2～3
茨城県体育協会あいさつ	3
平成 30 年度 (公財) 日本スポーツ協会表彰受賞者あいさつ ...	3～4
支部だより	4～6

会長ごあいさつ



会長
照沼 一美

茨城県スポーツ指導者協議会会員の皆様、ご機嫌よろしくお過ごしのこととお慶び申し上げます。平成三十一年度を迎えるにあたり、新しい年度が我々スポーツ指導者として、より良い年になりますよう、願いを込め茨城県スポーツ指導者協議会会員の皆様に、ご挨拶を申し上げます。

平成三十年度事業も予定通り滞りなく、すべての事業が終了いたしました。これらは役員の皆様の献身的なご努力と、会員の皆様のご協力によるものと感謝の意を表し御礼を申し上げます。

本協議会の主事業である登録更新時の必須義務研修である全県研修会においては、ケーズデンキスタジアム水戸において盛大に実施いたしました。更に支部単位の更新時義務研修会は、県南支部・県北支部が其々に支部の特徴を演出し、役員の皆様のお力が前面に出されて、参加者のニーズに配慮することが出来たものと確信いたしております。

毎年恒例の行事になりました、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者の表彰式典が、去る平成三十年十二月八日、東京都港区高輪のTKPガーデンシテ

イ品川ボールルームにおいて、公認指導者の全国研修会に先立ち開催されました。本県からの受賞者は以下の通りです。

▽県スポーツ指導者協議会推薦者

小堀 英樹様(中央支部推薦)

吉田 広光様(常任理事会推薦)

青柳 薫光様(常任理事会推薦)

▽県競技団体推薦者

荻野谷恵子様(水泳連盟推薦)

伊藤ゆかり様(エアロビクス連盟推薦)

計五名の皆様が受賞されました。

誠におめでとうございます。今後更なるご健勝のうえご活躍をされますようご期待申し上げます。

式典後の公認スポーツ指導者全国研修会は、

＊特別講演として

品川女子学院理事長の漆 紫穂子様による「スポーツ指導に役立てる組織改革」と相手のやる気を引き出すコミュニケーション」

＊特別対談は二〇一九年NHK大河ドラマ「いだてん」裏話出演者のピエール瀧氏と制作担当の訓覇 圭氏によるドラマ宣伝がありました。

＊シンポジウムは「日本スポーツ協会におけるアスリート発掘事業の現状」と題して横田匡俊氏による座学がありました。

◎平成三十年度全国スポーツ指導者連絡会議(代表者会議)が十二月七日(金) TKPガーデンシティ渋谷において開催されました。

＊公認スポーツ指導者制度の改定について

ヨン二〇一八について

＊「資格更新のための義務研修」の名称変更について

＊運動部活動のあり方に関する総合的なガイドラインについて

◎関東ブロックスポーツ指導者協議会二〇一九年度事業

＊二〇一九年六月十六日～七日、千葉県幕張において関東ブロック宿泊研修会を開催実施する。

開催担当幹事は、千葉県スポーツ指導者協議会。

◎茨城県スポーツ指導者協議会といたしましては、県体育協会の指導の下、義務研修会を中心に、機会ある毎に「スポーツ界における暴力根絶」を訴えてまいります。

又公益財団法人日本スポーツ協会の主旨に基づき「スポーツ指導者の人間力向上に向けたカリキュラムを検討して参ります。

新たな年、平成二〇一九年度が有資格者それぞれの皆様にとつて、益々ご活躍されますよう、ご祈念申し上げます。終わりに二〇一九茨城県国民体育大会の成功を祈念し、併せてご愛読いただいております、茨城県スポーツ指導者協議会会員各位の益々のご活躍を、更に茨城県スポーツ指導者協議会への各別なる、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



平成三十年度 本協議会活動報告



鈴木 義夫

茨城県スポーツ指導者協議会
副会長兼事務局長

平成三十年度茨城県スポーツ指導者協議会の事業活動を、ご報告申し上げます。

今年度の本協議会総会は、平成三十年四月二十二日(日)に水戸市内原中央公民館で開催して、本協議会照沼会長より総会席上に於いて、功労賞に県北支部長推薦で高松淑子様(日立市)が受賞された。

平成二十九年度事業報告及び収支決算報告並びに平成三十年度事業計画案及び収支予算案、本協議会規約一部改革案が全会一致で承認が得られました。

本協議会の主なる事業は、義務研修「全県研修会・地区研修会」を茨城県内の三会場で開催して、全県研修会を水戸支部及び研修委員会が主管で、平成三十年八月十二日(日)に水戸市・ケーズデンキスタジアム水戸で開催、参加申込者は二百二十名に対し、受講者は百八十八名(会員百三十七名・非会員五十一名)でありました。

県南地区研修会は県南支部主管で、平成三十年十一月十一日(日)に阿見町・本郷ふれあいセンターで開催、参加申込者は百四十一名に対し、受講者は百二十三名「

会員九十六名・非会員二十七名」でありました。

県北地区研修会は県北支部主管で、平成三十一年二月三日(日)に日立市・十王総合健康福祉センターで開催、参加申込者は六百十八名に対し、受講者は六百十七名「会員五十二名・非会員十五名」でありました。

本協議会は会報を毎年二回「八月上旬及び三月中旬」に広報委員会が主管で、原稿依頼、研修会取材、文書校正等など編集後に印刷製本が出来上がり次第、本協議会事務局から各支部を通じて、会員皆様へ無料で会報を配布しておりさらに各支部が独自に研修会・講習会の開催と支部便りを発行しております。

茨城県に登録する(公財)日本スポーツ協会公認スポーツ指導者平成三十年十月一日現在登録人数は、三千六百四十八名であります。が、平成三十一年一月十二日現在本協議会六支部の公認スポーツ指導者で有資格者数及び会員数は、「県北支部有資格者三百四名・会員百五十六名」・「水戸支部有資格者三百九十八名・会員百六十三名」・「中央支部有資格者五百七十九名・会員二百九十一名」・「鹿行支部有資格者百九十一名・会員九十六名」・「県南支部有資格者千百四名・会員四百六十五名」・「県西支部有資格者三百七十四名・会員百七十五名」・「県外有資格者九十名・会員二十二名」で有資格者合計は三千四十名(但しスポ

ーツリーダーは除く)、会員合計は千三百六十八名で、会員比率四十五%になりました。

公認スポーツ指導者は、資格取得後に義務研修を三年六か月以内一回以上の研修会に受講した実績が必要でありますので、本協議会が主催する義務研修「全県研修会及び地区研修会」に受講された方々を(公財)茨城県体育協会から(公財)日本スポーツ協会にデータ入力して、資格更新の案内通知が(公財)日本スポーツ協会から送付されるよう当協議会がご支援いたします。

本協議会は、毎年四月及び十月に(公財)日本スポーツ協会へ資格取得及び資格更新が完了された公認スポーツ指導者に会員入会のご案内を致しております。積極的な本協議会への会員入会にご協力を宜しくお願い申し上げます。

今後とも茨城県スポーツ指導者協議会の発展寄与及び事業運営等に、会員皆様の格別なるご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

茨城県体育協会あいさつ



茨城県体育協会
主事

埴 秀斗

昨年度、県体育協会に採用され、スポーツ少年団の育成事業を中心に日々業務に取り組んでいます。そして、昨年の十月から茨城

県スポーツ指導者協議会を担当しています。

私は、サッカー競技を小学校から大学まで選手としてプレーしてきました。現在も現役選手として茨城県体を目指しつつ、母校でトレーニングをさせてもらいながら、後輩達へ指導する機会をいただいてスポーツ指導にも関わっているところです。

これまでサッカーを続けてきた中で多くの指導者と出会い、教えるを受けて、人生が大きく変わりました。その中でも特に、大きな影響を受けた教えが、「技術・戦術を身につける前に、人としてのベースがしっかりとっていないといけない」ということでした。サッカーだけでなく、サッカー以外のところで、人間性がしっかりといていないとその上に技術は積み上がらず、苦しいときこそ人間性の高さが技術の高さにつながることを教えていただきました。

この教えは、現在社会人として仕事に取り組みむ私にとって、かけがえのない大切なものであり、今でも人間性を磨くため、日々努力を続けています。

このように、指導者は選手に大きな影響を与える存在であり、スポーツを通して、選手を人としてプレイヤーとして成長させるために、コーチングやティーチングをする必要があります。そのためには、指導者は選手と本気で向き合う中で、自身の過去の経験に囚われないことなく、進取の気性をもち、学び続けることが大切です。

そして、指導者自身もその過程で、人として指導者として成長できるのではないのでしょうか。

茨城県スポーツ指導者協議会には、学び続ける指導者の育成、時代の変化に対応できる指導者の育成に尽力していただけることを願っています。そして、私自身も共に学んでいきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

平成三十年度(公財) 日本スポーツ協会表彰

受賞者あいさつ



小美玉市
小堀 英樹

この度、茨城県体育協会及び茨城県スポーツ指導者協議会中央支部のご推薦を頂き、平成三十年十二月八日(土)東京品川区TKPガーデンシティ品川に於いて、平成三十年度公認スポーツ指導者全国大会、公益財団法人スポーツ協会公認スポーツ指導者等表彰を受賞し、一九八八年から小川空手スポーツ少年団を立ち上げ、一九九三年に鉾田空手スポーツ少年団を発足し、一九八四年には、鉾田第一高等学校空手道部へ外部指導員として指導に携わり、長く指導者

としてこれたのも私一人の力と言うより、廻りの空手関係の先輩方、スポーツ少年団の父兄の方々の協力、高校の校長を始め顧問の先生のご理解と協力があったからこそ今回の受賞と思っております。これからもこの受賞に恥じないよう空手道を中心にスポーツ活動を先頭に立って努力して行こうと新たな覚悟を持って歩みたいと思います。二〇二〇年は空手界の念願であった、オリンピック競技に正式に入り、空手の伝統を世界に発信出来るよう、まずは地域から活動をするのが私の使命と思っております。



水戸市

吉田 広光

この度、平成三十年十二月八日、品川ガーデンシティに於いて、公認スポーツ指導者全国研修会があり、公益財団法人日本スポーツ協会の公認スポーツ指導者全国研修会に参加させて頂きました。

茨城県体育協会、茨城県スポーツ指導者協議会、常任理事会の皆様方にご推薦を頂き、心から感謝申し上げます。また、茨城県スポーツ指導者協議会会長の照沼様にも会場に出席いただき、感謝しております。

一九八一年に日本ソフトボールの資格を得て、学校を始め地域の青少年の指導・育成に尽力し、様

々な指導力も学び、平成三年十一月、日本ソフトボール協会の第一種資格を得て、茨城県ソフトボールの審判員評議員として活動しました。その後、茨城県スポーツ指導者協議会水戸支部の一員として現在の役割を果たしながら活動しております。誠にありがとうございます。

今回の全国研修会では、日本スポーツ指導者協議会長のメッセージの中に、①スポーツを愛する人を増やす。②反倫理的行動を根絶する。③スポーツは、「する」「見る」「支える」といった多様な楽しみ方がある。その中で、一人でも多くの人がスポーツを生活の中において、生涯を通じて長く楽しめる環境を整えなければならぬと言っていました。答えは、導き行動を促す何かと考えられる問題点があったように考えられました。



水戸市

青柳 薫光

平成三十年度公認スポーツ指導者全国研修会が、平成三十年十二月八日に東京都のTKPガーデンシティ品川にて開催され、その席上で公益財団法人日本スポーツ協会の公認スポーツ指導者表彰式が行われ、全国一八三名の一人として日本スポーツ協会常務理事ヨコゼッタランド様より表彰盾を頂きました。推薦を頂きました

茨城県体育協会並びに茨城県スポーツ指導者協議会の皆様方に心から感謝と御礼を申し上げます。

私とソフトボールの関わりは、昭和五十二年に地域のお父さんチームに参加したのが最初で、その後、昭和五十四年に同じ地域にママさんソフトボールチームを立ち上げ監督になって本格的に始動したことでした。そのママさんという名称は、現在レディースとなりましたが、チームも今年で創部四十年を迎えるまでになりました。これまで全国大会十二回、関東大会十六回出場することが出来ましたが、創部当初はこんなにも永くチームに関われるとは考えておりませんでした。創部から数年は試合をすれば負けの連続。しかし指導者の資格を取得してからは、ただ教えるだけでは選手にそれ以上を望めないことに気付きました。選手自らが進んで考えて行動するために一つひとつのプレーに對し「何故出来ないのか」ではなく「どうしたら出来るのか」等を選手と一緒に考え、悩み失敗を繰り返しながら進めて来た結果、試合に勝利した時の感動が忘れられずに今日まで来てしまいました。

しかしこれが全てではありません。これまで継続出来たのは何と言っても一緒に考え悩んでくれた多くの選手に恵まれたことが一番です。

これからも、さらに指導者として自己研磨を重ね、スポーツの普及活動に取り組んで行きたいと思っています。

今後とも、皆様方のご指導よろしくお願い致します。

支部だより

水戸支部

支部長

吉田 広光

水戸支部は、今年市政施行一三〇年を迎えるに当たり、過去から学び未来に向かって、茨城県のスポーツ界と新しい時代を切り開く活躍が出来る環境を整えられるよう、後押しをしてみたいと思っております。政財界はじめ、スポーツ文化各界からも地域経済に触れ、今までもそうであったが、変化に対応できるような挑戦をして行く年に貢献出来るよう活動したいと思います。

最後になりましたが、水戸支部の活動報告とさせていただきます。

中央支部

事務局長

野々村 律子

二〇一九年、中央支部総会を、四月十三日(土)ひたちなか市松戸体育館研修室Aに於いて、前年度事業報告、決算報告、会計監査報告を行い、今年度の事業案、予算案を審議して頂き、新たな役員構成でよりよい活動が出来ればと思います。会員一人一人が日本スポーツ協会に改名された事を心にと受け止めて、活動して行ければと思います。

尚新たに指導者資格更新時に、

皆さんの活動資格にもよりませんが、一次救命処置(BLS)講習が義務研修実績の申請を必要になりました。

支部継続事業の救急救命講習会を六月一日(土)ひたちなか市田彦消防署に於いて、開催いたしました。

この際に日本スポーツ協会指導者育成専門委員会に提出する、義務研修実績申請書が入手出来るように手配したいと思っています。もう一つの支部継続事業の支部研修を七月を目安に笠松運動公園多目的室に於いて開催いたします。これも義務研修となりますように手続きたいと思っております。

今年度より新たに地区研修会として、中央研修が開催のはこびになりましたら、十二月に笠松運動公園多目的室で、本部の指導の基に実施致します。

皆様の活動日との予定をふまえて参加申し込みをと思います。

八月四日(日)県体育協会、県指導者協議会主管による、全県研修会が開催されます。

更新時期を逸すると、手続きが大変難しくなりますので、気を配って頂いた方がよいと思います。

今年は、国民体育大会が、日頃の活動に加えて、全県下で施行される訳ですが、一人一人が自分の場所での参加のため、来県なさる皆様をおもてなしの心でお迎えし、子供達の心に残る二〇一九いきいき茨城ゆめ国体、いきいき茨城ゆめ大会を、一丸となつて、成功させたいものと思います。

鹿行支部

副支部長
君和田 治也

いよいよ茨城ゆめ国体の年となり、鹿行地域としても各種種目が開催されます。

鹿嶋市は成年・少年のサッカー。潮来市はボート、トライアスロン、オープンウォータースイミング。鉾田市はスポーツクライミング、(リード・ボルダリング)。神栖市はテニス、カヌース普林ト、グランドゴルフ。行方市はゲートボール、ビーチハンドボールとなつております。

各地域も盛り上げようと苦勞を重ねていると思います。是非、現地で生の活躍を見ていただきたいと思っています。支部活動として十二月には支部役員研修会を開催し、2020年1月に開催予定の公認スポーツ指導者義務研修会の打ち合わせを行いました。

また、鹿行支部のスポーツ功勞者や新しい指導者の発掘などスポーツ指導者協議会活動を盛り上げる議案を探しています。

翌年2020年には東京オリンピックが開催され、鹿嶋市のカシマスタジアムでは、サッカーを見る事が出来ます。よりレベルの高いスポーツを見ることが出来ます。

各種スポーツ指導者の方はいろいろな新しい情報を身に付けるためにも、研修会に参加したり、生の試合等を見ていただきたいと思っています。そして、地域に根ざした活動を互いに頑張りましょう。

県南支部

支部長
櫻井 孝之

平成三十年度も後少し、義務研修会(県南地区)も多数のご参加を頂き、会員各位の協力の下に実施できました。心より感謝致します。有難うございました。

平成三十一年度は、新天皇即位、新元号発表をはじめ、参議院選挙茨城国体と忙しい年となります。国体実施に関係する指導者の皆様には大変ご苦勞な事とご推察致します。成功裏に実施される事を心より願つてやみません。

十一月県南地区義務研修会でのアンケートを行いました。講演I 岩淵先生の実体験を踏まえたお話が聴けて良かった。叱る、怒るの違い区別しても差別はしない。愛情を持って指導すれば信頼関係が築ける等の感想が多くありました。講演II 渋谷先生のコーチングの話は、パワーポイントで解りやすく共感を得た内容でした。動機付けをどの様に導くか? コミュニケーションスキルの重要性を実感した。外発的、内発的動機づけの大切さを理解できた。参加者に様々なインパクトを与えた講演でした。多様な感想・意見がアンケートにあり、全部紹介出来ませんがアンガーマネージメントや、実践的具体的コーチング法等の要望のご意見も多数ありました。駐車場の混雑で一部車の移動等に皆様にご協力頂き有難うございました。次回県南地区開催は2020年、東京オリンピックの年、要

望に沿える研修会を実施できればと、思っています。



県南地区研修会受付 (H 30.11.11 阿見町)

県西支部

事務局長
近藤 康雄

平成三十年度の茨城県スポーツ指導者協議会、県西支部の活動もまもなく終わりに来ております。

昨年八月十二日(日)平成三十年度全国研修会を水戸支部及び研修委員が主管で、初めて水戸のケーズデンキスタジアム水戸で開催され、無事に終了致しました。

県西支部からは、二十四名の方が参加して頂き遠路ありがとうございました。県西支部会員は十二月末現在、百七十五名となっております。(県西支部有資格者三百七十四名会員比率は四十六・八%) 平成三十年度、県西支部独自の活動としては県西支部総会時に「理想的な指導」と題して研修会を行いました。平成三十一年度(新元年)は県西支部役員の更新時期(一期二年)になり、一月二十日(日)に支部役員

会を開催し、ほとんど留任との結論を出しました。(支部総会承認事項)活動につきましては、県西支部総会を五月十九日(日)に予定、同日に普通救命講習(AED)を行います。又、隔年開催される県西支部主管の平成三十一年度(新元号)茨城県スポーツ指導者地区研修会を十一月に開催します。場所は古河市ユースセンター総和を予定してあります。地区研修会開催時には県西支部会員の方々のご協力を宜しく願います。

最後になりますが毎年、茨城県スポーツ指導者協議会表彰候補者を本部に推薦しておりますが会員の方々からの情報を頂きたく第七十八号の会報に表彰規定細則を同封いたしますので皆様からの情報をおまちしております。

この会報をご覧になり、ご意見ご要望がございましたら
〒三〇六―〇〇五二
古河市大山一五四三―一三三
県西支部事務局 近藤康雄
FAX〇二八〇―四八―一九一一
まで連絡をお願いします。

県北支部

支部長

梅村 恒雄

前回、今年度の総会についてご報告しましたので、その後の事業計画の進捗状況についてご報告します。

平成三十年度事業実績
六月四日 定例会

- ・支部総会の反省
- ・実技研修会の総括
- ・支部広報紙対策

七月二日 定例会

- ・県理事會報告

八月六日 定例会

- ・支部広報紙発行

九月三日 定例会

- ・地区研修会対策
- ・全県研修会報告
- ・支部役員研修会対策
- ・女性センター対策

三十日 支部役員研修会
十月一日 定例会

- ・県常任理事會報告

- ・地区研修会対策
- ・女性センター祭対策

- ・十一月五日定例会

十二月三日 定例会

- ・地区研修会対策
- ・支部総会対策

一月二十一日 定例会

- ・地区研修会対策
- ・新年度事業計画審議
- ・女性センター対策

二月三日

- ・地区研修会開催
- ・定例会

以上が現在までに実施した事業です。

今回の地区研修会の会場を従来の女性センターから日立市十王総合健康福祉センター「ゆうゆう十王」に変え開催しました。

茨城県体育協会の橋本事業課長、塙主事、茨城県スポーツ指導者協議会から鈴木事務局長、青柳委員長、君和田広報委員長のご出

席を賜り、県北地区研修会の運営について所感を頂きました。次回の開催に反映していきたいと考えております。

これからは、三月に支部広報紙を発行し、五月二十日に支部総会を予定しています。総会は、平成三十年度の反省と、三十一年の事業計画について議論し、会員の皆様の活動の一助となるような計画を立て、支部役員一同精一杯頑張っております。

県北支部では役員としてご協力できる会員を募集しておりますので、事務局長までご連絡いただければ幸甚に存じます。

会員の皆様のご支援、ご協力を宜しくお願い致します。



県北地区研修会 (H 31.2.3 日立市)

会員入会協力への おねがい

会員の皆様、有資格者のお仲間、会員入会をお勧めいたします。ただける様、ご協力をお願いいたします。

編集後記

第七十八号会報発行に当たり皆様に原稿を賜り心から感謝申し上げます。

ご愛読いただける会報となるよう努力してまいりますので、皆様の忌憚のないご意見をお寄せ頂きたいと思っております。

今回の会報七十九号発行は
平成三十一年八月(予定)

広報委員会

広報委員長

君和田 治也

広報副委員長

高野 照代(鹿行支部)

広報委員

佐藤 マツ(県北支部)

岡野 秀一(水戸支部)

柏葉 光子(中央支部)

櫻井 孝之(県南支部)

角谷 俊二(県西支部)

鈴木 義夫(事務局長)